

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	C言語I	科目コード	2230
シラバスコード	191C0G-2230		
授業時数/週	5 時間		
開講年次・学期	1年・前期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	樋口徹、高橋保司		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程 備考		連携企業等	

■科目詳細情報

授業概要	C言語の基本となる入出力関数、演算子、配列、制御文といった文法を習得し、プログラムの順次・選択・繰り返しといった仕組みを学ぶ。また、簡単なプログラムの読み書きができるよう、課題を通じて実装力を養う。
到達目標	プログラミング言語の中で、初歩的な理解に役立つC言語の基本の理解を行うことで、C言語を含む、プログラムの作り方、考え方などのプログラミング全般の知識を得ます。
授業方法	プログラミング言語(C言語)の講義と実習を行い、各自演習を行います。
実践的教育の内容	過去から使われていた技法。将来的に使用されるだろう考え方など、実際のプログラミング現場にて使用されるプログラムテクニックや知っておくべき情報など、実践時に役立つ内容についての説明を適時おこないます。
評価方法	プログラム言語に関する定期試験(筆記試験)60%、提出課題40%
授業外における学修	特になし
授業計画	第1週 実習環境の構築と実習方法の説明 Cプログラムの特徴の理解
	第2週 文字列を出力する 単純な計算の理解
	第3週 プログラムの作り方 入出力演習
	第4週 名前の付け方・各種定数表現の方法 演算子の理解
	第5週 制御文のルール 制御文の概要の理解
	第6週 制御文 制御文の理解
	第7週 データ型 データ型の理解
	第8週 配列と文字列 配列と文字列の理解
	第9週 文字検査/変換、マクロ 文字列とマクロの理解
	第10週 入出力関数 入出力関数の理解
	第11週 検定対策(3級)、検定試験の対策講義(1) 検定対策講義、模擬試験の実施
	第12週 検定対策(3級)、検定試験の対策講義(2) 検定対策講義、模擬試験の実施
	第13週 関数化(関数分割)の考え方 関数化(関数分割)の考え方の理解
	第14週 ポインタ1 ポインタの理解
	第15週 課題制作・課題提出指導 課題の制作と提出
	第16週 課題制作・課題提出指導、課題解説(1) 課題の制作と提出
	第17週 課題制作・課題提出指導、課題解説(2) 課題の制作と提出
教科書・教材	「C言語教科書」オリジナル 新訂 新C言語入門 シニア編
参考文献・資料	特になし
履修上の留意点	特になし